

ふるさと教育の推進について

地方において人口減少が進むなか、将来にわたって活力あるふるさとづくりを進めていくためには、将来の福井を担う人づくりが極めて重要である。

昨年度策定した「教育に関する大綱」および「教育振興基本計画」では、「ふるさと福井への誇りと愛着を持ち、自ら学び考え行動する力を育む 教育県・福井」を基本理念に掲げ、ふるさと教育をさらに強力に進めていくこととした。

このほど、ふるさと教育を推進する新たな取組みが今月から本格稼働する。

取組み内容

1 「ふるさと福井の先人100人」（6月から授業で活用）

- ・ふるさと福井にゆかりのある先人100人のエピソードを掲載
(例) 橋本左内（福井市）、由利公正（福井市）、南部陽一郎（福井市）、橘曙覧（福井市）、大谷吉継（敦賀市）、梅田雲浜（小浜市）など
- ・県内すべての中学生・高校生に配付し、先人の生き方や考え方を学ぶ授業を実施

2 「古典音読・暗唱ノート」（6月から授業で活用）

【小学校】

- ・百人一首、おくのほそ道、故事成語、漢詩、福井県民歌などを収録
- ・ふるさと福井にゆかりのある作品も数多く掲載

(例) にじょういんさぬき 二条院讃岐の百人一首、橘曙覧の独楽吟、三好達治の詩など

【中学校】

- ・平家物語、徒然草、方丈記、万葉集、論語などを収録
- ・ふるさと福井にゆかりのある作品も数多く掲載

(例) 松尾芭蕉が『おくのほそ道』で福井に立ち寄った時の俳句、橋本左内の啓発録、俵万智の短歌など

県内すべての小・中学校に配付し、音読・暗唱活動に活用

3 図書の巡回貸出（6月から開始）

教師や司書が薦める古典、ふるさと文学の図書をすべての小・中学校に巡回させる仕組みを開始。1クラス2週間を基本とし、1年かけて巡回することにより、子どもの読書活動を推進する。